

[報告]

海外研修エッセイの書き方事前指導について

熊 本 た ま

はじめに

グローバル化に伴い、多くの大学が留学や海外研修に力を入れるようになってきている。名古屋外国語大学英米語学科では、2012年度は4か国(カナダ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド)でそれぞれ30名前後の学生が4週間から6週間の短期研修をした。2013年度にはインターシップを伴う中期留学(ニュージーランド)と、夏の短期留学には、新たにアメリカが加わり、研修先は全部で6か所に増えた。

これらの研修について、学科として研修の成果を計るためのデータをとったことはないが、帰国した学生には、一般的に報告されているような、学習意欲の向上、異文化理解の向上、滞在国への理解の向上などが感じられる。しかし、具体的なデータがないために、研修を行ったという実績はあっても、プログラムの教育効果の改善などにつながりにくい。小林(2013)が指摘するように、「短期海外研修の教育的効果を一層高めるためには、研修を多面的に検討し、その分析をプログラムの教育効果の改善という観点から研修に組み込んでいくというサイクルが必要である」といえよう。どのような観点からであれ、将来の改善につながるように、海外研修の運営について記録を残していくことが必要であろう。

一般的にみて、学生の異文化への対応の仕方といった情意的変化そのものの報告は近年増加しているように思うが、アカデミックな力の向上については、研究成果は少ない。最近の研究では、語学力の流暢さは増すが、

正確さは変わらない（木村、2012； 飯田、2013）という報告がなされている。

英米語学科主催のニュージーランド研修は、毎年春期休暇に北島の南部 Palmerston North 市にある Massey 大学の Professional and Continuing Education (PaCE) でおこなわれる。PaCE で外国人を対象とした語学クラスを4週間とり、会話やプレゼンテーションを学んだあと、最後の1週間はニュージーランドの文化を理解するために観光地をバスで旅するものである。4週間の語学研修のまとめは、ニュージーランドの文化についてパワーポイントを使ってグループ発表をすることになっている。ニュージーランドの社会、文化、歴史、教育など様々なトピックから、学生がペアになって興味のあるものを選び、質問事項を考え、町の中心にある公園でアンケートをして、それをパワーポイントにまとめて発表するというものである。学生にとっては研修地のことや、そこに住む人たちがどんな考えをしているかを知るためにも、大変よい経験であるが、発表の後に書いたものにまとめる、という段階は Massey のカリキュラムには含まれていない。口頭での流暢さと、異文化体験を目的とした短期の海外研修では、あまり書くことには重点を置かないのが一般的である。学科では、どの研修先も帰国後のレポートを課してきたが、学生の書いたレポートは、ライティングのクラスで学んだエッセイの書き方をふまえたものが少なく、単なる感想文が多かった。

本稿は、2012年度ニュージーランド研修(5週間、25名参加、うち1年生12名、2年生13名)の前半を引率した筆者が、事前研修でアカデミック・ペーパーの書き方を指導した記録である。筆者は、研修は学生が異文化に関するリサーチを実行する場ととらえ、リサーチへの取り組み、アカデミック・ライティングの書き方の指導を事前に行った結果、学生は感想文ではなく、リサーチにもとづく客観的なペーパーを書くことができた。本稿ではまず、アカデミック・ライティングの特徴を述べ、それをどのように事前研修の内容に含め、その結果、学生がどのような作文を書いたかを

紹介する。リサーチ・ペーパーについて簡単なアンケートもしたので、その結果についても紹介し、考察する。

1. アカデミック・ライティングの特徴

英米語学科では、2012年度から始まった English Language Program (ELP) の中の Writing の授業で、1、2年生それぞれの学年で統一教材を使ってアカデミック・エッセイを指導するようになったが、学生は学んだことを応用して研修のまとめとしてのレポートを客観的に記述することがなかなかできなかった。

Writing の授業は、毎年教科書を変えており、教師によりアプローチは異なるが、学生が西洋の大学で学ぶとしたら最低限必要となるエッセイの書き方の基礎を教えている。どのような教え方をしたとしても、アカデミックな文章には、以下のような特徴があると Johns (2003, p. 208) は述べている。

Some features that academic texts have in common:

1. Academic texts must be explicit in both argumentation and vocabulary use.
2. Topic and argument should be prerevealed in the introduction or as the genre requires.
3. Writers should provide “maps” or “signposts” for the readers throughout the texts, telling them where they have been and where they are going.
4. The language of texts should create a distance between the writer and topic to give the appearance of objectivity.
5. Writers should maintain a “rubber-gloved” quality of voice and register; “I” should be used sparingly and only in certain sections serving particular functions.
6. Writers should hedge, taking a guarded stance, especially when present-

ing their research work.

7. Texts should display an understanding of the reality shared by the reader or by members of the discourse community to which the text is addressed.
8. Texts should display an understanding of social and authority relationships, such as the roles of readers and writers.
9. Texts should acknowledge the complex and important influence of intertextuality, the exploitation of texts and data to promote argumentation and discussion.
10. Texts should comply with the genre requirements of a community or classroom.

以上の条件を、英米語学科1年生と2年生のWritingクラスで教えている内容に置き換えると、以下ようになる。

- (1) パラグラフ構成やエッセイの構成を通じて、演繹的議論の組み立て方を学ぶ。関連した語彙を正しく使う。
- (2) 5パラグラフからなるエッセイでは、最初のパラグラフを導入部として、そこに必ず主題文 (thesis statement) および予告 (preview) を書く。各パラグラフにはトピックセンテンスを書く。
- (3) つなぎことばを正しく使う。
- (4) 感情を入れないで、客観的に書く。
- (5) 一人称の “I” をなるべく使わない。
- (6) (ヘッジングは初心者には難しいので、指導していない。)
- (7) 相手が何を知っているか、予測して書く。
- (8) 書いている内容についてよく調べ、自信を持って相手を説得する。
- (9) APA 方式で、利用した文献を紹介する。文中引用 (in-text citation) と引用文献リスト (reference list) の2か所が呼応するように引用する。

(10) 主に議論文と解説文の書き方に従って書く。

以上のような書き方を **Writing** のクラスのみならず、他の授業でも繰り返す、課題として書いているのであるが、多くの学生にとっては2年生の終わりになっても、まだ主題文や、APA引用がかなり難しいようである。

2. 事前指導の内容

ニュージーランド研修の事前指導は、合計4回行った。これは旅行会社の行う旅行手続のための集まりとは別に行った。1、2年生が**Writing** クラスで学んでいる内容をいかに広げて映画レポート、およびリサーチ・ペーパーにつなげるか、が課題である。4回の指導内容は以下のとおりである。

第1回：2012年11月1日（木）5時間目

研修全体についての説明。課題の説明。（資料1）

研修地の紹介、映画レポート（1パラグラフの要約）の書き方の説明。（資料省略）

宿題として、マオリ族を題材とした映画のDVD版 *The Whale Rider* を見てレポートを書く。

トピック・センテンス、サポート、物語の要約。感想を書くときになるべく “I” を使わず、無生物主語を使うことなどを教える。

第2回：2012年11月22日（木）昼休み

宿題提出。

ニュージーランドに関する図書館の本（日本語）を分野ごとに紹介。分野は、教育、言語、子育て、食べ物、政治、など。（資料省略）

宿題：ニュージーランドに関する本を1冊選び、興味を持った部分をパワーポイントにまとめる。

第3回：2012年12月13日（木）5時間目（資料省略）

4、5人のグループに分かれてパワーポイントの発表（日本語でも英語でも可）。

宿題1：発表したトピックについてニュージーランド人にインタビューするための質問を3つ考え、リサーチ・プロポーザルを書く。（資料1）

宿題2：ビジュアルにまとめるための、グラフの種類、名前、数字の使い方の練習をする。（資料2）

第4回：2013年1月10日（木）5時間目

リサーチ・プロポーザルへのコメントを戻す。

ホスト・ファミリーの住所をインターネットで検索。

出発前の一般的な注意事項。

学生は、現地校で現地の先生が紹介するトピックを選ぶことになるので、必ずしもこちらで準備したものが生きるわけではない。しかし、日本語で類似の作業をして行くことで、英語での作業が楽になるのではないかと考えた。

3. 学生の手いたエッセイの紹介

あらかじめ指示したように、研修終了後に学生は全員 introduction, method, results, discussion, conclusion の5つの部分に分けて書いてきた。以下に紹介するのは、比較的文アカデミック・ライティングの要素を理解している2年生の手いたエッセイの一部である。この学生は2011年度ELPパイロット・プログラム（Suiko, et al., 2013）の対象学生で、その時、筆者の1年次Writingクラスを1年間受講した。図や表は省略した。コメントの後のカッコは、先に述べたアカデミック・ライティングの特徴を番号で示している。（スペリングや文法の間違ひはそのままにしてある。）

Jobs in New Zealand

Working pattern is different in the whole country. Japanese people seem hard worker compared with people in many other countries. New Zealander has many jobs and uses their time efficiently. There are many differences in ideas about jobs between Japan and New Zealand.

In the daytime, actually, many New Zealanders enjoy their time at café, park, and so on. Most shops are closed until 6:00 pm and shop workers go home. It is unusual in Japan. According to New Zealand Now (2012), "good living in New Zealand is about balancing an honest day's work with social fun, time at home with family." I was interested in the differences about job between Japan and New Zealand. New Zealanders enjoy both jobs and their free time.

主題文 (Thesis statement) (1) (2)

文中引用 (In-text citation) (9)

導入部分で "I" を使ったのはこのセンテンスのみ (5)

Method

I asked 10 questions to 10 New Zealanders who are all adult, not student, and only have jobs. We took the interview at square where is the center of Palmerston North. It took about 5 minutes per person.

These are 10 questions which I asked to the New Zealanders.

Q1. Do you have a job?

Q2. How many jobs do you have?

Q3. What is your job?

Q4. How many days do you work per week?

Q5. How many hours do you work per day?

Q6. How long do you want to work per day?

Q7. Do you like your job?

Q8. Why did you choose this job?

Q9. When you were a child, what did you want to be?

Q10. What age did you start to work?

Then, I compare the result with Japan.

一人称は使っているが、他は客観的記述になっている (4)

Results

In New Zealand, most working people have 2 jobs and 3 people have 3 jobs (figure 1). It was usual for New Zealander to have some jobs. Each job has different terms. The jobs were like office manager, daily consultant, director, service manager, home stay coordinator, and so on.

Most of New Zealander work 5 days and 2 people work 4 days or 2 days and only 1 person work 6 days (figure 2). The number of days which they work per week is same as Japanese. To focus on the number of hours which they work per day, many New Zealanders answered 5~6 hours (figure 3). Japanese people generally work 8 hours or more per days. Compared with Japan, New Zealanders work a little short. [以下3パラグラフ省略]

Finally, I searched the age they started to work. Each person has different answer (figure 5). 13 was the youngest and 20 was the oldest.

読み手にとって読みやすいように、質問内容がわかるように書いている (7)

つなぎことば (3)

Discussion

There is the big difference about thinking of importance of work and time between New Zealanders and Japanese. New Zealanders tend to think family and their own time are more important than jobs. They use their own time better by having some different jobs. They take advantage of different terms of jobs and choose jobs which suit them to use their time efficiently. On the other hand, Japanese people tend to think jobs are more important than family or their own time. Japanese people work eight hours or more per day and five days per week on average. They generally work on a steady system. According to Okamoto (2011), "Permanent employment is one of the reasons why Japanese are hard workers." Japanese people tend to think that doing one good job all their life is the best. It is important for our lives to have a permanent good job but it is not the only way to achieve the goal of our lives.

[以下2パラグラフ省略]

このパラグラフのトピックセンテンス (2)

つなぎことば (3)

次に続く引用の要約を先に述べている (2)

文中引用 (9)

Conclusion

New Zealanders enjoy their jobs and their free time. There are many differences about working between New Zealand and Japan. Working system in New Zealand is better than Japan. (1077 words)

References

New Zealand Now. (2012). Balanced lifestyle. Retrieved April 9, 2013, from <http://www.newzealandnow.govt.nz/living-in-nz/balanced-lifestyle>

Okamoto, O. (2011). Revisiting Japanese Lifetime Employment System. Retrieved April 9, 2013, from http://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/download.php?file_id=60932

Portal Oceania. (2002). Types of work in New Zealand. Retrieved April 9, 2013, from <http://www.portaloceania.com/nz-work-types-ing.htm>

Study New Zealand.eu. (2011). Secondary Education / High Schools in New Zealand. Retrieved April 9, 2013, from <http://www.studynewzealand.eu/study/education>

APA 形式の引用文献
リスト (9)

正確な語彙の使い方 (1) や文法にはまだ改善の余地があるし、主観的な記述もところどころ見られるが、紹介したエッセイは明らかに感想文とは異なる客観的な記述に移行しつつある作文である。事前指導により、アカデミック・ライティングに必要な要素をよりはっきり表現することができたといえる。

その他の学生の手いたタイトルは以下の通りである。2人か3人が同じトピックを選び、グループでインタビューし、発表したものをエッセイにしたため、似ているタイトルは省略した。

Lifestyle in New Zealand

Food in New Zealand

Traveling habits in New Zealand

Working in New Zealand
Medical care in New Zealand
Sports and Exercise in New Zealand
Famous Animals in New Zealand
New Zealand people and fruit
Animals of New Zealand
New Zealander's wedding
New Zealanders' Holidays
NZ's food self-sufficiency
The Nature of New Zealand

提出されたエッセイは引率者4人が分担して読み、主に内容と構成（特に主題文）に関してコメントを書いて学生に戻した。事後の指導はしていない。

4. アンケートの結果

事前指導の効果や、学生のアカデミック・ライティングへの理解を知るために、エッセイを返す時に短い記名式のアンケートに答えてもらった（資料3）。留学のため海外に出てしまった学生や、その他の理由により、回収率はあまりよくない。25名中16名の回答をまとめた。

回答した全員が、ペーパーを書いたことがNZへの理解を深めることになった、と評価している。

比較的多くの学生が難しいと感じたのは、インタビュー（44%）と主題文（thesis statement）の作り方（50%）であった（表1参照）。外国語で知らない人に話しかけるのは心理的に大変であり、このようなりサーチ・ペーパーも初めての学生が多いので、これは予想された結果である。ほとんどの学生がはっきりとした主題文を提示できていない。また、引用の仕方を難しいと感じる学生も同様に多かった（44%）。実際に、引用がしっかり

できていたのは、上にエッセイの紹介をした学生を含めても2、3人であった。主題文や引用・出典の書き方については、日常の教育でもっと強調されなくては、学生の意識には残らないといえる。

それ以外に関しては、学生にとって学んだ事が生かせる課題であったと考えられる。表2が示すように、Writing授業で学んだ事を応用できた、と感じる学生は81%おり、事前指導の内容が役に立ったと感じる学生は88%いる。

表1 学生が感じた作業別難易度 (n=16)

	易しい	普通	難しい
a. インタビュー	2 (13%)	7 (44%)	7 (44%)
b. トピックの選び方	7 (44%)	7 (44%)	2 (13%)
c. 主題文 (thesis statement) の作り方	0 (0%)	8 (50%)	8 (50%)
d. パラグラフの書き方	2 (13%)	13 (81%)	1 (6%)
e. グラフや図の挿入	7 (44%)	7 (44%)	2 (13%)
f. 引用の仕方	1 (6%)	8 (50%)	7 (44%)

表2 授業や事前指導を応用できたか (n=16)

	はい	わからない	いいえ
英米語学科のWriting授業	13 (81%)	3 (19%)	0 (0%)
ニュージーランド事前指導*	14 (88%)	1 (6%)	0 (0%)

*1名未回答

5. まとめ

たとえ短期間の研修であっても、十分な事前指導により、学生は体験したり、調査した内容がある程度客観的なレポートにまとめることができた。そのことにより、記憶に残る体験の質自体が大きく変わるのではない。海外は、学生にとって非日常の世界であるだけに、何も準備しないで

外国に行っても単なる珍しい体験だけに終わってしまう。確かにそれでもよいとする意見は学科にも強い。2013年度は、学科の海外研修ワーキンググループの話し合いで、まとめのエッセイをやめ、プレゼンの簡単な要約を提出させることになった。それは海外研修を主に“experiential”なものとして捉える考え方からきている。しかし、海外研修は、多面的な効果を学生にもたらすものであるので、小林（2013）が提案するように、その教育効果は様々な面から評価し、将来のプログラムの向上に役立てなくてはならない。どの面を重視するかによってさまざまな事前の取り組みが可能ならずであり、そのような試みを引率の教員は発表していく必要がある。

引用文献

- 飯田毅（2013）. 「Study Abroad and English Four Skills: 1年間の留学によって4技能がどの程度伸びるのか」. JACET第52回国際大会における口頭発表. *The JACET 52nd (2013) International Convention Book*, pp. 112-113.
- 木村啓子（2012）. 「ライティング力の変化とその情意的要因を探る試み——海外短期語学研修参加者の場合」. 『関東甲信越英語教育学会誌』 26: 53-65.
- 小林文生（2013）. 「短期海外研修による教育的効果の再検討：学生の報告書の多面的な分析を通して」. 『一橋大学人文・自然研究』 7: 162-185.
- Johns, A. M. (2003). Genre and ESL/EFL composition instruction. In B. Kroll (ed.), *Exploring the Dynamics of Second Language Writing* (195-217). Cambridge: Cambridge UP.
- Suiko, M., Kumamoto, T., Umegaki, M., & Astley, T. (2013). A report on the 2011 pilot program for the Department of British and American Studies New English Language Program. 『名古屋外国語大学外国語学部紀要』 第44号, 355-384.

資料 1

New Zealand Study Trip 2012
British and American Studies, NUS
November , 2012
1 / 7

New Zealand Study Trip 2012

Department of British and American Studies

Nagoya University of Foreign Studies

November 1, 2012

Contents

1. Schedule
2. Learning about New Zealand
3. How to write a research paper
4. Submission of paper
5. Research proposal

This brochure will explain how you prepare yourself for the study trip to New Zealand. Learning about the country, the culture, and the people beforehand will make your trip much more meaningful. We would like you to read this brochure carefully, follow the preparation steps to write a research paper, and submit your proposal by Thursday, December 20. Your proposal will be commented on by the instructor and returned to you at the next meeting in January. Please visit the New Zealand Study Trip site on Moodle. First, log in to Moodle; then click on 学部 and find British and American Studies. New Zealand Study Trip is the first one on the list. The password to get in is [REDACTED].

1. Schedule

Week 1: Introduction to the New Zealand study trip

The overview of the brochure

How to write a summary of a movie/book

Assignment: Watch *The Whale Rider* and write a summary paragraph

Week 2: Introduction to useful websites and books

Assignment: Find an area of interest to you.

Read a book or an article and present the content to your friends.

Make up three questions to ask your friends.

Week 3: Instructions on how to write a research paper

Assignment: Write an outline of your research.

Include three questions that you are going to ask in NZ.

Include a reference list.

2. Learning various aspects of New Zealand

2.1 New Zealand accent

The first thing you might notice on entering the country may be the slightly different accent you hear. You can listen to the accent (and even compare it with the more familiar American English accent) by visiting the following site.

<http://www.hodderplus.com/linguistics/International-English/index.asp>

Your username is *linguistics*, and the password is *hodder*.

2.2 Useful sites to learn about New Zealand

New Zealand History:

<http://www.nzhistory.net.nz/>

On language and expressions:

<http://h2g2.com/dna/h2g2/alabaster/A521191>

New Zealand Study Trip 2012
British and American Studies, NUS
November , 2012
3 / 7

Culture of New Zealand:

<http://www.newzealand.com/int/culture/>

Palmerston North, the city you are going to visit:

<http://www.pncc.govt.nz/>

The map of the city:

<http://www.maplandia.com/new-zealand/wanganui-manawatu/palmerston-north/>

Massey University, where you are going to study:

<http://www.massey.ac.nz/massey/international/>

And there are more! Please explore by yourself!

2.3 Library

Also visit the library. Use OPAC to find interesting books on New Zealand.

You can try “New Zealand,” “Oceania,” “Maori,” etc. as key words.

3. How to write a research paper

The New Zealand Study Trip is a credit-bearing course; you will receive 4 credits on completion of the course, which includes writing an 800-word paper on one of the following topics that interests you. The paper is due 1pm Thursday, April 11, 2013. Please hand it in to the Department Office.

Suggested topics include the following:

Family life	Education and schools
Sports	Waitangi Day
Local history/sightseeing sports	Television programs
Newspapers and magazines	Leisure activities
Customs and festivals	Multiculturalism
The Political System	Immigrants
Maori	Industry in NZ
Agriculture/farming	NZ's nuclear policy

- 3.1 Start reading materials on New Zealand.
You can use the internet sites that are introduced above, library books, etc. to find the research area of your interest.
- 3.2 Title, thesis statement, and interview questions
Think about a possible title and thesis statement, and prepare at least 3 questions to ask New Zealanders. These are tentative ideas; once in New Zealand, you may find a more interesting topic. In that case, you can start afresh and follow the same procedure.
- 3.3 Interview questions
You are going to have interviews with at least 20 New Zealanders. Focus your questions so that you can use them to support your thesis statement.
4. Writing the paper
The final paper should follow the structure that you are learning in your writing class; that is, it should have an introduction, body, and concluding parts. The body and concluding parts should have headings for ease of reading. The introduction does not need a heading. You will need to use at least 3 sources (including at least 2 English sources). Give references appropriately at the end of the essay, following the APA style. The format is shown on the next pages: check each item (★) before you submit your paper.

<p>Your name Your ID number Date of submission</p> <p>Title</p> <p>XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX. XXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX.</p> <p>XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX. XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX. XXXXXXX XXXXX. XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXX.</p> <p>Method</p> <p>XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX. XXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX. XXXXXXXX</p>	<p>★Your identification ★ Use Times New Roman 12 pt.</p> <p>★Center the title. Begin major words with a capital letter.</p>
<p>XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX. XXXXXXX XXXXXXXXXXXX.</p> <p>XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX.</p> <p>1. XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 2. XXXXXXXXXXXXXXXX 3. XXXXXXXX</p> <p>XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX.</p> <p>Results</p> <p>XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX. XXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX. XXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX.</p> <p>XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX.</p>	<p>★Introduction in 1-3 paragraphs. ★Indent each paragraph. ★Double space. ★Begin with background information, why you got interested in the topic, etc. ★Use in-text citation, if necessary. ★Write a clear <u>thesis statement</u>, with a <u>preview</u>.</p> <p>★Center the heading (Method) in bold type. ★ List interview questions and describe how interviews were conducted in 1-3 paragraphs. Include information on how many people you interviewed, age, gender, ethnicity, etc. as well as the time and place the interview took place. ★Indent each paragraph and give it a clear <u>topic sentence</u>.</p> <p>★Center the heading (Results) in bold type. ★Describe the results you obtained in words first, referring to charts and/or tables; then show the charts and/or tables after that.</p>

Figure 1. The Number of Students




Table 1. The Increase in Student Numbers

Discussion

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX. XXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX. XXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX.
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX. XXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXX. XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX.

Conclusion

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX. XXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX. XXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX. XXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX.

References

XXXXX. (XXXX). XXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXX & XXXXX (XXXX). XXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX.
XXXXX. (XXXX). XXXXXXXXXXXXXXXX.

★Number charts (図) and tables (表), e.g., Figure 1, Table 1, etc. and give titles.

★Begin major words with a capital letter.

★Center the heading (Discussion) in bold type.

★Interpret the results in 1 to 3 paragraphs. The interpretation is your opinion; thus, it has to be supported by reasons why you think you obtained such results. Use sources (in-text citation) to support your opinion.

★Indent each paragraph and give it a clear topic sentence.

★Center the heading (Conclusion) in bold type.

★Summarize your research results in one sentence.

★Add your final thoughts in a few sentences, but not any longer.

★Give at least 3 sources (at least 2 English sources) appropriately in the APA style.

★ Alphabetize the author names.

★Use the header to show your name and the page number.
e.g. Yamada 4/4

— 282 —

New Zealand Study Trip 2012
British and American Studies, NUFs
November , 2012
7 / 7

5. Research proposal

Write your proposal and submit on Moodle, or you can put it on a tray outside Kumamoto's office (room 6216) by December 20.

Research Proposal

Name:

Student #:

Title of the Paper

Thesis Statement

Questions to Ask in the Interview

1.

2.

3.

References

1.

2.

3.

資料 2

Week 3: Writing a Research Paper

Your assignment this week is to keep reading about New Zealand in English, and write an outline of your paper, including the questions to be used in the interviews. You will also learn some expressions related to visual presentations such as graphs and tables.

1. Graphs and diagrams

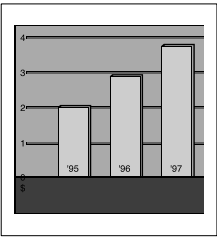
Give Japanese and English names to the following visual presentations.

A.



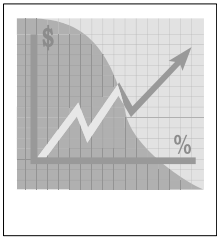
Japanese ()
English ()

B.



()
()

C.



()
()

D.

Number	Amount
1	15
2	23
3	36

()
()

(折れ) 線グラフ、円グラフ、表、棒グラフ
bar chart, line graph, table, pie chart

Fill in the blank to describe the diagrams/graphs above.

1. A () is a **diagram** in which different amounts are represented by thin vertical or horizontal bars which have the same width but vary in height or length.
2. A () is a **grid** with **columns** and **rows** of numbers.
3. A () shows how numbers **increase** or **decrease**.
4. A () is a circle divided into **segments** from the middle (like slices of a cake) to show how the total is divided up.

Diagrams are also called **figures** and are usually labeled Figure 1, Figure 2, etc. with titles. **Tables** are usually labeled Table 1, Table 2, etc. with titles. In your writing, **refer to** the diagrams and tables in the following way.

e.g. The results of the interview are illustrated in Figure 1.

Table 1 shows the results of the interview.

2. Numbers

Some useful expressions

Twenty **per cent** (NOT 20 percent, ~~the 20 per cent~~ or 20 percentage) of students received scholarships. (10 以下、および文頭の数字は、単語で表す)

The **percentage** of students receiving scholarships has increased.

Graphs show how numbers **increase** and **decrease**. Numbers can also be said to **rise** or **grow** and **fall**, **drop** or **decline**. They have corresponding noun forms, **increase**, **decrease** (with stress on the first syllable), **rise**, **growth**, **fall**, **drop** and

decline, followed by **in** (what) or **of** (to explain the size of the change).

Exercise (Adapted from McCarthy & O'Dell, 2008, p. 63)

Look at the chart. Complete the explanation with words from the box below.

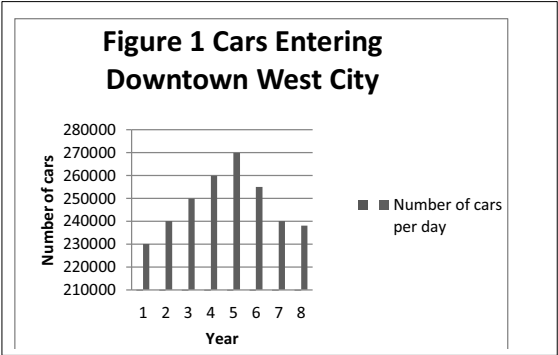


Figure 1 _____ the number of cars entering the downtown area of West City each day over an eight-year period (years 1-8). The totals are listed on the _____ axis (*give two answers*), while the years are listed on the _____ axis (*give two answers*). The number of cars _____ over the period. The total rose in the first few years and _____ a _____ in year 5, after which the numbers started to _____. This can be _____ by the _____ that a new mass transit railway was opened in year 6, which is a _____ illustration of how good public transport can dramatically affect car use.

x	horizontal	shows	vertical	key	varied	y	legend
reached	fact	indicates	decline	plots	fall	explained	peak
drop	graphic						

3. How to begin and end an interview

To begin

“Excuse me. Could you please help me by answering three questions? It will take only 2 or 3 minutes. I’m doing a survey about ____ as part of my English course at Massey.”

(If a person says he/she doesn’t have time) “OK, thank you anyway.”

(If a person says yes) “Thank you so much! OK, the first question is...” etc.

To end

You: “Thank you! I really appreciate your help. Thank you for your time.”

Other person: (something like: No problem / You’re welcome / Good luck on your survey)

You: Thank you. Good bye.

資料 3

ID number	Name

NZ研修で書いたリサーチペーパーについてお答えください。

1. ペーパーを書いたことでNZへの理解が深まったと思いますか。

はい	わからない	いいえ

2. どのような点が難しかったですか。該当する選択肢に○をしてください。

	易しい	普通	難しい
a. インタビュー			
b. トピックの選び方			
c. Thesis statement の作り方			
d. Paragraphの書き方			
e. グラフや図の挿入			
f. 引用の仕方			

3. NUFSのWriting 授業で学んだ事を応用できましたか。

はい	わからない	いいえ

4. 事前研修で学んだ事は役に立ちましたか。

5. リサーチペーパーについて、考えることがあったら自由に書いてください。